

◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
②	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
③	友達関係に満足していますか。

分 析	①タブレットを利用した授業への意義を感じている。 ②将来を見据えた人間形成ができている。 ③友好的な友人関係を築けている。
2 学期からの取組	タブレットを活用した授業について教師の研修を進めていく。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。
②	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいに時間、PC、タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）。
③	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

分 析	①家庭学習、自主学習への意識が低い。 ②タブレットの持ち帰りができていないこともあり、学習への活用ができていない。 ③他者との意見の共有や話し合い活動への不安を感じている。
改善に向けた取組	①進路に関わる情報を随時提供し、意識や意欲を高める。 ②タブレットの持ち帰りを検討したい。 ③グループ学習を通して、他者の考えを知るきっかけをつくる。

◆国語科

正答率は県平均を大きく上回り、全国平均をやや上回った。

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	言葉の特徴や使い方に関する事項（知識・技能）
②	我が国の言語文化に関する事項（知識・技能）
③	読むこと（思考・判断・表現）

分 析	・全体的にどの項目もよくできており、無回答率も低い。ただ、根拠を明確にして考え、条件に従って書く問題で無回答率が二桁となっており、苦手意識をもつ生徒が一定数いると考えられる。
改善に向けた取組	・日頃の授業の中で、字数を決めた条件作文を書く場面を多く取り入れる。評価基準を明確にし、書き方のポイントを指導していく。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
	特になし。

分 析	全体的によくできており、最も低い項目で県平均とほぼ同じであった。
改善に向けた取組	引き続き、「生徒が主体的に活動できる授業」及び「個別最適な学びの充実」を進めていく。

【数学科】

正答率は県平均をやや上回り、全国平均と同じであった。

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	四分位範囲を求める
②	一次関数のグラフ上の点を示す数量

分 析	領域別に見ると「数と式」「関数」は県平均をやや上回り、「データの活用」は県平均を大きく上回る。また、思考・判断・表現の問題（記述式）では無解答率が低く、正答率は県平均を大きく上回った。
改善に向けた取組	自分の考えを他者に伝えたり、かいて表現したりする活動を取り入れる。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	累積度数を求める
②	平面の決定条件

分 析	数学用語などの知識・理解の定着が不十分である。理解が曖昧なため、選択式の問題の正答率が低い。1年時の学習内容を忘れている生徒が多い。問題文が長くなると、読み取りができていない。
改善に向けた取組	単元末に数学用語や基本的な知識・技能を振り返り、定着させる。

【英語科】

正答率は県平均をやや上回ったが、全国平均をやや下回った。

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	メールの表現を依頼する表現に書き換える
②	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する
③	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切なものを選択する

分 析	①に関しては、英語での対話を繰り返してきた効果だと考える。 ②③に関しては、授業の予習として本文の内容の概要を掴んで授業に臨むように促し、できるだけ英文を読むことの抵抗感を下げようしてきたことの効果だと考える。
改善に向けた取組	更に英語での対話のやりとりや長文を読むことに対する抵抗感を下げよう に、生徒どうしが互いに学び合う活動を継続する。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する
②	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する
③	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる

分 析	①に関しては、短い文章を限られた時間に英文を読み取る力が不足している。 ②に関しては、限られた時間内に聞き取り理解する力が不足している。 ③に関しては、疑問詞を用いた過去形の疑問文が定着していない。
改善に向けた取組	①②に関しては、英文を読み取ったり聞き取ったりする力は、良くできている点でもあるが、今後は時間を意識した活動にも取り組んでいく。 ③に関しては、再度文法事項の確認を行い、定着を図る。